

グローバル理工人育成コース【上級】 所属要件 及び コース修了要件・対象科目

所属要件:

- 1) 本学学士課程卒業生: グローバル理工人育成コース【中級】を修了していること。
- 2) 本学学士課程以外の卒業生: 英語力コアの条件 (右記のいずれか: TOEFL iBT80点以上/TOEFL ITP550点以上/TOEIC750点以上/IELTS6.0以上/英検準1級以上) を満たしており、国際性に関する基礎力が備わっていること。
注: 国際性に関する基礎力についての資料を所属申請書と共に提出すること。(※グローバル理工人育成コース【中級】と同等の国際的な教育を受けたことが証明できる資料(修了証等)、および国際性に関する能力が備わっていることを説明するエッセイ等。)
提出された資料内容を精査の上、所属について審査を行い、その結果を後日メールにて通知する。

本コースは、以下に指定された留学経験および科目の履修を通じ、次の能力を育成する:

- ① 国際教養: 自身の専門分野と社会のつながりについて、倫理、歴史、文化を含めた視点で俯瞰的に理解し、異文化コミュニケーションに繋げることができる。
- ② 国際リーダーシップ: 異文化の中でも、具体的な目標を示し、他者に分かりやすく共有し、リスクを恐れず様々な提案を行い、協力者を得て、実現に導くことができる。
- ③ 発想力・価値創造力: これまでの概念にとらわれず、新たな発想で、新しい活動を始めることができる。
- ④ 国際共同研究基礎力: 自身の専門分野を超えた国内外の専門家と協働して、研究に参加し、提案を行うことができる。

修了要件表の(A1およびA2)に示された科目から合計4単位を修得した上で、(A3)に示す留学経験を得ること。

グローバル理工人育成コースは、本学が示す『国際経験』の育成を前提として実施される。中級を修了した時点で、本学において提示している『国際経験により養われるべき素養』を満たしたものとす。

各科目区分	留学経験を 満たす科目	分類	科目 コード	授業科目名	単位数	開講学期	国際教 養	国際 リーダ シップ	発想 力・価 値創造	国際共 同研究	必要単位数	備 考	
A1		国際意識醸成・広域科目	LAW.X421 (ENT.L458)	グローバルリーダーシップ海外研修(旧:グローバルリーダーシップ研修)	0-0-1	4Q		○			1単位以上	左記授業科目で2単位以上の履修があった場合は、その他の科目(修了要件3単位)として修了要件に含めることができる。 「グローバルリーダーシップ実践(LAW.X425)」は2023年度より1単位⇒2単位に変更された。 「グローバルリーダーシップ研修(LAW.X421)」を留学経験認定科目として履修した科目は、左記1単位に含めることは不可。	
			LAW.X423 (ENT.G453)	物語のあるものづくり	0-1-0	4Q	○		○				
			LAW.X425 (ENT.L457)	グローバルリーダーシップ実践	0-2-0	2Q		○					
			LAW.X427 (ENT.G454)	私たちの持続可能なエネルギーの未来: ビジネスと技術の役割	0.5-0.5-0	3Q	○	○	○				
LAW.X429 (ENT.L456)	グローバル企業の効果的なチームワーク(異文化協働とリーダーシップ)	0-1-0	4Q			○							
A2		国際意識醸成・広域科目	LAW.X414	持続可能工学マネジメント	2-0-0	3Q	○		○		3単位以上		
			LAW.X417	持続可能工学と技術	0-2-0	3~4Q	○						
			LAW.X433	アートと国際経験による多文化理解	0-1-0	4Q	○		○	○			
			LAW.X434	アイデア、ライティングとコミュニケーション	1-0-0	1Q	○		○	○			
			LAW.X440	伝統技術と国際共修特論(2024年度開講)	1-0-1	1-2Q	○		○	○			
			LAW.X451 (ENT.G451)	伝統技術と国際協働特論	0.5-0.5-0	1-2Q	○		○	○			
			LAW.X452 (ENT.G452)	伝統技術とプロダクトデザイン特論	0-1-0	1-2Q	○		○	○			
			LAW.X456 (ENT.G456)	アートによる創造性の解放(大学院生)	0-1-0	3Q	○		○				
			LAW.X515・6 (ENT.G541・542)	オンライン国際経験実践アドバンスAB・CD (グローバル理工人国内研修アドバンスIC・D)	0-0-1	1~2Q 3~4Q				○			○
			LAH.C402	ピアレビュー実践 ※リーダーシップ道場を受講していること	0-1-0	3Q・4Q				○			
			LAH.C401	リーダーシップ道場	1-0-0	1Q・2Q				○			
LAH.A501	世界を知る: ヨーロッパ	1-0-0	1Q	○									
LAH.A503	世界を知る: 中南米	1-0-0	2Q	○									
LAH.A504	世界を知る: 中東・アフリカ	1-0-0	3Q	○									
LAH.A506	世界を知る: 北米・オセアニア	1-0-0	4Q	○									
LAH.A505	世界を知る: 南・東南アジア	1-0-0	3Q	○									
LAH.A502	世界を知る: 東アジア	1-0-0	1Q	○									
LAH.A511	日本を伝える	1-0-0	3Q	○									
LAH.C501	リーダーシップアドバンス ※リーダーシップ道場とピアレビュー実践を受講していること	1-0-0	1Q				○						
LAC.M537 (ENT.C537)	修士研究と社会貢献(2022年科目名変更)	1-0-0	3Q				○	○					
LAC.M511 (ENT.C511)	修士キャリア構築ロールモデル(2022年科目名変更)	1-0-0	3Q・4Q					○					
LAC.M448 (ENT.C448)	修士クリティカルシンキング(2022年科目名変更)	1-0-0	1Q	○	○	○							
LAC.M562 (ENT.C562)	修士サイエンティフィックコミュニケーション(2022年科目名変更)	1-0-0	2Q	○	○								
LAC.M406 (ENT.C406)	修士グローバルキャリア開発リテラシー C	1-0-0	3Q	○	○	○							
LAC.M413 (ENT.C413)	修士キャリアデザイン演習 A1	1-0-0	1Q	○	○	○							
LAC.M537 (ENT.C537)	修士研究と社会貢献(2020年度科目名変更)	1-0-0	3Q				○	○					
LAC.A645 (ENT.A645)	博士アカデミックプレゼンV	0-0-1	2Q	○				○					
LAC.C643 (ENT.A643)	博士国際競争力向上のためのキャリア開発	1-0-0	3Q					○					
LAC.A635 (ENT.A635)	博士アカデミック海外研修	0-0-1	1Q・2Q・3Q・4Q					○					
LAC.C651 (ENT.A651)	博士テクニカルディスカッション	0-1-0	1Q・2Q・4Q	○									
LAC.C657 (ENT.C657)	博士テクニカルライティング	0-1-0	1Q・3Q・4Q					○					
LAC.C621 (ENT.C621)	博士アカデミックリテラシー(旧: 博士博士科学者・技術者の倫理)	1-0-0	3Q・4Q	○	○								
LAE.E401	英語海外研修IIA 1・2	0-2-0	1Q~4Q	○									
LAE.E402	英語海外研修IIB 1・2	0-2-0	1Q~4Q	○									
LAE.E451	TOEFL対策セミナー第十三	0-1-0	1Q	○									
LAE.E452	TOEFL対策セミナー第十四	0-1-0	2Q	○									
LAE.E453	TOEFL対策セミナー第十五	0-1-0	3Q	○									
LAE.E454	TOEFL対策セミナー第十六	0-1-0	4Q	○									
LAE.E441	アカデミックプレゼンテーション第十三	0-1-0	1Q	○									
LAE.E442	アカデミックプレゼンテーション第十四	0-1-0	2Q	○									
LAE.E443	アカデミックプレゼンテーション第十五	0-1-0	3Q	○									
LAE.E444	アカデミックプレゼンテーション第十六	0-1-0	4Q	○									
LAE.E461	アカデミックライティング第十三	0-1-0	1Q	○									
LAE.E462	アカデミックライティング第十四	0-1-0	2Q	○									
LAE.E463	アカデミックライティング第十五	0-1-0	3Q	○									
LAE.E464	アカデミックライティング第十六	0-1-0	4Q	○									
LAE.E431	英語スピーキング演習第十三	0-1-0	1Q	○									
LAE.E432	英語スピーキング演習第十四	0-1-0	2Q	○									
LAE.E433	英語スピーキング演習第十五	0-1-0	3Q	○									
LAE.E434	英語スピーキング演習第十六	0-1-0	4Q	○									
LAE.E471	英語スピーチ演習第十三(2023年度休講中)	0-1-0	1Q	○									
LAE.E472	英語スピーチ演習第十四(2023年度休講中)	0-1-0	2Q	○									
LAE.E435	英語スピーキング演習GV	0-2-0	2Q(夏季集中)	○									
LAE.E436	英語スピーキング演習GV	0-2-0	4Q(春季集中)	○									
LAE.E481	言語文化演習第十三	0-1-0	1Q	○									
LAE.E482	言語文化演習第十四	0-1-0	2Q	○									
LAE.E483	言語文化演習第十五	0-1-0	3Q	○									
LAE.E484	言語文化演習第十六	0-1-0	4Q	○									
LAL.G431	ドイツ語文化演習 1	0-1-0	1Q	○									
LAL.G432	ドイツ語文化演習 2	0-1-0	2Q	○									
LAL.G433	ドイツ語文化演習 3	0-1-0	3Q	○									
LAL.G434	ドイツ語文化演習 4	0-1-0	4Q	○									
LAL.F431	フランス語文化演習 1	0-1-0	1Q	○									
LAL.F432	フランス語文化演習 2	0-1-0	2Q	○									
LAL.F433	フランス語文化演習 3	0-1-0	3Q	○									
LAL.F434	フランス語文化演習 4	0-1-0	4Q	○									
LAL.R431	ロシア語文化演習 1	0-1-0	1Q	○									
LAL.R432	ロシア語文化演習 2	0-1-0	2Q	○									
LAL.R433	ロシア語文化演習 3	0-1-0	3Q	○									
LAL.R434	ロシア語文化演習 4	0-1-0	4Q	○									
LAL.C431	中国語文化演習 1	0-1-0	1Q	○									
LAL.C432	中国語文化演習 2	0-1-0	2Q	○									
LAL.C433	中国語文化演習 3	0-1-0	3Q	○									
LAL.C434	中国語文化演習 4	0-1-0	4Q	○									
LAL.S431	スペイン語文化演習 1	0-1-0	1Q	○									
LAL.S432	スペイン語文化演習 2	0-1-0	2Q	○									
LAL.S433	スペイン語文化演習 3	0-1-0	3Q	○									
LAL.S434	スペイン語文化演習 4	0-1-0	4Q	○									
LAL.Z401	第二外国語海外研修IIA 1・2	0-2-0	1Q~4Q	○									
LAL.Z402	第二外国語海外研修IIB 1・2	0-2-0	1Q~4Q	○									
TAL.C401	グローバルプレゼンテーション A, B, C, D	1-0-0	1Q・3Q	○			○						
TAL.C402	グローバルコミュニケーション A, B, C, G, F	1-0-0	2Q・4Q	○									
TAL.C501	グローバルライティング A, B, C, (2023年度休講中)	1-0-0	1Q・2Q・3Q・4Q	○									

A3	留学経験	留学期間	必要な経験・単位等	国際教 養	国際 リーダ シップ	発想 力・価 値創造	国際共 同研究	留学実習活動期間	備 考
		継続的な留学経験8週間以上 (実働日は40日以上)					○	○	留学経験の認定にあたっては、国際意識醸成・広域科目または、大学院課程における各コースの専門科目、外国語科目、もしくは現地留学先において単位が修得されていることが必要である。 そのため、留学終了後、原則として一か月以内に ・「留学経験認定書」を提出すること(一回の留学につき一枚の提出が必要) ・単位修得を証明する書類(本学の成績証明書、協定校等で履修した科目の成績証明書等)を提出すること。
		継続的な留学経験6週間以上 (実働日は30日以上)	1. 留学経験を補完する科目として上記「その他」の●がついている科目より1単位を履修				○	○	また、留学経験に関する本学での単位取得については、所属の系・コースで留学経験に関する単位を設けている場合は、その申告を推奨するが、「グローバル理工人海外研修アドバンス1CD~4CD(LAW.X507~514)」の申告も可能である。希望する場合は、グローバル理工人育成推進支援室に申し出る。
		に加えて右記いずれか1つ	2. 継続的な2週間以上の留学経験(*2) 3. 国際学会での発表等				○	○	国際学会での発表等については、1)プログラムの表紙(学会名、開催場所、開催期間、学会の活動内容等が明記されているもの)、2) 発表要旨、発表題目および氏名が記載されているプログラム、3) 発表要旨または発表論文(1ページ目)を提出すること。期間不問。
継続的な留学経験4週間(*1)以上 (実働日は20日以上)	1. 留学経験を補完する科目として上記「その他」の●がついている科目より2単位を履修				○	○	国際学会での発表等については、1)プログラムの表紙(学会名、開催場所、開催期間、学会の活動内容等が明記されているもの)、2) 発表要旨、発表題目および氏名が記載されているプログラム、3) 発表要旨または発表論文(1ページ目)を提出すること。期間不問。		
に加えて右記いずれか1つ	2. 留学経験を補完する科目として上記「その他」の●がついている科目より1単位 に加えて、継続的な2週間以上の留学経験(*2) または 国際学会での発表等 3. 継続的な4週間(*1)以上の留学経験(実働日は20日以上)				○	○	*1:4週間未満の留学で、実働日が20日の場合、活動実績により留学経験と認めることができる。該当する場合はグローバル理工人育成推進支援室に申し出る。 *2:実働日は事前事後学習を含めて10日以上(内8日は海外での活動)		

◆対象科目については、今後、追加される可能性がある。◆①国際教養 ②国際リーダーシップ ③発想力・価値創造 ④国際共同研究基礎力の各能力が養えるように履修することが望ましい。◆コース修了について ・学修ポートフォリオにより修得した能力を自己評価し、面接による判定に合格すること ・大学院修了時にコース修了証を交付